

「青少年奉仕月間」によせて

青少年奉仕委員会委員長
岡田雅隆



地区青少年奉仕委員会では、青少年を対象とした4つの公式プログラムの事業を行っています。社会奉仕及び国際奉仕プロジェクトに参加を具現化しているインターアクト、ローターアクトの委員会、指導者養成活動でRYLAセミナーを開催するRYLA委員会、世界平和と異文化の理解を深め育む手法とし、交換留学を実施する青少年交換委員会であります。この4委員会が独自に毎年活発に委員会事業を展開しています。

また主役である青少年の参加者は毎年増加傾向にあり、本年度900名に迫るほどの数の若者たちが携わってくれています。

10月に開催された「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」には青少年奉仕委員会挙げて全員がホストとして参加し、ブースの出店、チャリティーの呼びかけ、ステージの登壇、場内清掃などロータリーファミリーとして延べ300名が参加し、大会運営には無くてはならない存在となっています。

また11月10日（土）地区大会初日の午後より、蒲郡市民会館大ホールにて地区大会の併設事業として「青少年・学友フォーラム」を開催いたしました。

600名ほどの参加を頂き、それぞれの事業の活動を詳しく発表する場として、皆様に青少年奉仕事業をご理解頂き、認知度を上げることができたかと考えます。

今後に向けて、2年前から「クロスプロモーションの概念」を採用しました。ロータリーの青少年プログラムに参加頂いている青少年たちに、委員会の枠に留まらず、別のプログラム参加者と交流してもらい、ロータリーの青少年奉仕事業全般を理解し、興味を持ち、次のステップに進んで頂く交流の場を提供するようになりました。

若者たちは将来への希望です。皆様で育てて頂くことをお願いいたします。